

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和元年10月23日（水）

霧島市立牧園小学校 6年生14名

3・4校時（10：40～12：20）

県立埋蔵文化財センター

隈元・湯場崎・尾川（縄文の森）

1 3校時指導案

（1）目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

（2）実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。 2 本時の目標をつかむ。 地域の歴史や遺跡や文化財について理解しよう。	10	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
展開	3 鹿児島を代表する上野原遺跡について知る。 4 アカホヤ火山灰やそれに伴う災害の様子を知り、現在の防災にも繋がることを意識する。	15	○ パワーポイントを使い、上野原遺跡の紹介をする。 ○ 理科で同時期に学習する地層の学習とリンクさせ、鹿児島は火山のはたらきでできた地層が多いことや、始良カルデラや鬼界カルデラ、御池の噴火等を紹介する。	○ 縄文時代早期の土器（レプリカ）・石器等（埋文キット）ら
	5 西南戦争についての理解を深める。 ・西南戦争の概略を説明する。 ①土族の不平・不満の増大 ②不平土族と維新政府との対立 ③西南戦争勃発 ④敗走する西郷軍 ※ 敗走するときに笠取戦跡付近で大規模な戦闘が行われる。 ⑤城山で西郷自刃、西南戦争が終わる。	15	○ 西南戦争時の政府軍、西郷軍の進路を紹介する。 ○ 高熊山激戦地跡出土の銃弾を提示する。	○ 大まかな西郷軍・政府軍の進路と主な戦闘記載の地図 ○ 年表 ○ 高熊山激戦地跡出土の銃弾（西郷軍・政府軍）
終末	6 本時のまとめをする。 自分の住む校区内で、日本の歴史を左右する大きな出来事があったことを知り、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人達の働きについて考える。	5	○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。	

（3）評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。